

# 宮崎大学大学院工学研究科の改編（R6年度）

工学専攻の入学定員  
10名純増  
(定員134名→144名)

情報・DXを高度化した  
コースの新設

「先端情報コース」の新設※目安定員60名

教育方針

専門分野の高度化と異分野融合による多様なカリキュラムを維持しつつ、豊かで質の高い暮らしと持続可能な社会を実現するため社会実装を視野に入れた、情報通信分野及び融合情報分野の高度専門技術者の育成

成果

多くの高度情報・デジタル専門人材を輩出

●先端IT人材不足問題解決 ●社会が求めているDX推進

〈現在〉

環境系コース

エネルギー系コース

機械・情報系コース

情報系の目安定員  
(18)

〈令和6年度〉

環境コース

機械コース

電気・半導体コース

先端情報コース(60)

※( )は現状の目安定員の想定規模

・今後、学部のDS・DX強化、融合教育強化により、情報・DX分野への興味を持つ学部生がますます増える予想

高度情報  
専門人材 : 42名増

## 改編の背景・理由

出口

### 社会的背景・就職の観点

- 全国的な先端IT人材の不足
- 宮崎県内の深刻な情報人材不足
- 地域社会からの要望
- 就職率の高水準の維持
- 情報・デジタル分野への就職増加

入口

### 入学者数等の現状・学生確保の観点

- 入学者数、進学希望者数の増加
- 情報・デジタル分野の研究室への希望者増加
- 工学研究科のAPを満たす学生の希望
- 県内唯一の高度情報人材育成機関

質

### 教育の質の観点

- 専任教員の充実
- 教員(研究室)の情報・デジタル分野の充実
- 先端情報コースの教育プログラム
- 学部における情報教育の充実

出口・入口の観点からも、令和6年度の定員増・新コース設置が必要！  
教育の質を担保するために、定員増の数を10名に設定！